

2019年 12月 災害版No.103

広報ふたは、





▲ 後列左から、福島県双葉町支援の会様、ゴンターズ高原スポーツ少年団様、大浦富男様、(株) 伊藤工務店様、 (公財) 東京応化科学技術振興財団様 前列左から、渡辺浩美様、新家俊美様、伊澤町長、佐々木議長、石井義幸様、相樂比呂紀様

受章者は次のとおりです。



消防団員39年

いわき市在住

が挙行されました。において、令和元年 辞を述べられました。 が「今後も、町政発展のため、 橋本徹県議会議員が祝辞を述べら が贈られました。 記念品を、6団体に感謝状と記念品 に協力を惜しまない覚悟です」と謝 方々に永年勤続表彰として表彰状と に表彰状・記念品と徽章を、 続いて、 、特別功労表彰として3人の方々式では、伊澤史朗町長の式辞に続 受章者を代表して新家俊美さん いて、令和元年度双葉町表彰式 月3日、 佐々木清一町議会議長、 いわき事務所大会議室 4 人 の さら

▲ 謝辞を述べられる新家俊美様

〉永年にわたり双葉町消防団員とし 祉の向上に尽くされた功績顕著 て安全・安心の町づくりと住民福 義幸様 (三字)

〉永年にわたり双葉町消防団員とし て安全・安心の町づくりと住民福 祉の向上に尽くされた功績顕著 浩美 様

消防団員38年

郡山市在住



〉永年にわたり双葉町消防団員とし

祉の向上に尽くされた功績顕著

俊美様

消防団員36年

いわき市在住

て安全・安心の町づくりと住民福



◇多年にわたり双葉町消防団 として消防活動に寄与 比呂紀 様

(新山

消防団員25年 いわき市在住

代

◇多年にわたり双葉町消防団員

として消防活動に寄与

哲夫様(長塚二)

消防団員25年 埼玉県加須市在住

◇東日本大震災以降、 コンターズ高原スポーツ少年団 との友好関係に寄与 援や交流等、京丹波町と双葉町 代 町民への支

表 奥田 健次様 (京都府)

◇多年にわたり双葉町消防団員

として消防活動に寄与

隆昌様(三字)

宮城県名取市在住

◇双葉町教育行政の支援のため 多年にわたり科学に関する図書

東京応化科学技術振興財団 公益財団法人 理事長 藤嶋 昭様 (神奈川県

◇多年にわたり双葉町職員とし

消防団員25年

て地方自治行政の進展に寄与

富男様(長塚二)

いわき市在住

◇東日本大震災以降、 無償にて貸与 旧社員寮を

職員30年

日本リコス 株式会社 代表取締役 青山 浩徳様

(広島県)

特別功労表彰受章者へ

贈られた徽章



◇東日本大震災以降、物心両面に 県長浜市において追悼集会を開 催し多額の金員を寄付 わたる支援とともに、毎年滋賀

福島県双葉町支援の会 表 岩根 博之様

◇双葉町復興のため双葉町ふるさ 双葉日立生コン 株式会社 と応援基金に多額の金員を寄付 代表取締役 永田

(滋賀県)

茂男様 (長塚一)

茨城県水戸市在住

◇双葉町復興のため一般寄付金と 株式会社 伊藤工務店 して多額の金員を寄付

代表取締役 伊藤 いわき市在住 哲雄様 (新山)

人常町表彰式

ふたばっ子教育支援基金に ご寄付をいただきました



▲ 10月21日 双葉中学校昭和31年卒業生ご一同(辰巳会)様

箭内充さん(山田)が東北地区スポーツ 推進委員功労者表彰を受章されました



の皆さま

りました。何かと慌しい師走を迎え、 日ごとに寒さが一段と身にしみるよう 今年のカレンダーも最後の1枚とな

ないといけないと感じております。 どの被害があった町民の方々もおり、 どで床上、床下浸水などの被害があり 備えについて、対応策を講じていかな 生するかわからない自然災害に対する 雨が毎年のように大きな災害をもたら なかったものの、 25日の大雨・洪水により全国各地に甚 しています。あらためていつどこで発 でも石熊橋の崩落、倒木や土砂崩れ、 大な被害をもたらしました。 日も早い生活再建を願っておりま ればならないことを胆に銘じておか 民グラウンドの冠水、住宅や倉庫な 地球温暖化の影響なのか台風や大 月には台風第19号、 全町避難のため人的な被害は 避難先で床上浸水な さらには10 双葉町内

> 緩和、 町議会にも住民説明会の経過等を報告 域の避難指示解除について」をメイン 開催いたしました。 おります。 解除の判断を示していきたいと考えて するとともに協議を進め、避難指示の 町民の皆さんからのご意見を参考に、 取り組みについて説明しました。今後、 容や特定復興再生拠点区域の立入規制 放射線量等検証委員会の最終報告の内 除しようとする区域についての双葉町 テーマとして、 準備区域とJR双葉駅周辺等の 方々も出席し、「双葉町避難指 場で町政懇談会と併せて住民説明会を 改めて敬意と感謝を申し上げます。 町としての復興・再生に向けた 遠方からご出席いただいた 来年春の避難指 国等の関係 避難者支援に多 示解除 示を解

課題に全力で取り組んでまいります。 にて新年を迎えられますよう心よりご 民の皆さまにおかれましては、 厚く御礼を申し上げますとともに、 しご支援いただいたすべての皆さまに 望の持てる生活環境が整うよう様々な を目指して町民の皆さまが安心し、 を前進させ、令和4年春の町への帰還 結びに、今年一年間、双葉町民に対 [(第二次) に基づき、双葉町の復興 双葉町では今後も復興まちづくり計

双葉町表彰式を挙行いたしました。今

-度の表彰式では、永年にわたり双葉

消防団員として功績のあった3人の

ご来賓の方々が見守る中、

令和元年度

月3日、

いわき事務所において、

双葉町長 伊 された4人の方に永年勤続表彰を授与

職員として多年にわたり役職に精励

[体に感謝状を贈呈しました。

一面にわたりご支援いただきました6

双葉町のために物心

方に特別功労表彰を、

消防団員や双葉

福島県知事が町内を視察しました

11月13日、内堀雅雄県知事が全町避難が続く町内の復興状況等の視察に訪れました。

皆さまに心から感謝申し上げます。

初めに内堀知事は中野地区復興産業拠点内にある双葉町産業交流センター、東日本大震災・原子力災 害伝承館の建設現場を訪れ、町や福島県の担当者等から説明を受けました。伊澤史朗町長からは賑わい を創出するために東京オリンピックまでに完成を目指してほしい旨を要望しました。その後、JR常磐 線双葉駅西側地区を視察し、伊澤町長から町民の皆さまが帰還することができる公営住宅の整備など今 後の計画等を説明しました。

視察を終えた内堀知事は「双葉町に住んでいた人、また双葉町の復興に携わりたいと外から来る人が 安心して暮らすことができるように、国と福島県が一体となって力を尽くしたい」と述べられました。



▲ 中野地区復興産業拠点内



▲ 双葉駅西側地区

令和元年台風第19号(10月12日~13日)

公共施設等被災状況(10月26日撮影)



• • • • • • • •





石熊橋 (石熊地区)

町道木通沢線(山田地区)

両竹地区の試験栽培のほ場が台風第19号の影響で冠水等の被害を受け、9月に作付した野 菜はモニタリング検体として使用しない旨の報告を福島県より受けました。町では今後の試験 栽培について福島県と協議を行うこととしています。

災害支援状況



▲ 町職員が支援物資を運び入れる様子



▲ 支援物資運搬整理を行う町職員

町いわき事務所の受け入れなどの 支援をいただいているいわき市が断 水被害を受けたことから、ペットボ トル飲料水を10月15日付で提供 しました。

• • • • • • • • • • • •

- 500 ml×24本×79箱 計1,896本
- 2 L×6本×150箱 計900本

いわき市に対する人的支援 (職員派遣)

【支援物資運搬整理】 職員3名/日、延べ21人 10月19日~ 10月25日(7日間)

【り災証明書家屋調査補助】 職員2名/日、延べ10人 10月28日~ 11月 1日(5日間)

一个教育長メッセージ~



夢と希望のある「学び」へ

令和元年も、いよいよ師走を迎え1年の総まとめの時期となりました。朝夕の冷え込みも厳 しくなり本格的な冬到来といった趣でしょうか。それぞれの学校では、一年の節目として目標 に照らし合わせた反省をし、改善と今後の抱負を思い示すための話し合う場が設定されます。 また、振り返ると、猛烈台風や大雨による水害や自然災害が多発した下半期でした。改めて、 自然災害の怖さと防災意識の高揚について考えさせられました。学校及び家庭においても『自 分の命は、自分で守る』という意識を忘れないよう大人からの声かけが大切であると思います。 生活拠点としている地域のハザードマップを家族全員で見直し確認しておく場面を必ず持つこ とが人的被害を無くすことに繋がると思います。

生涯学習では、過日、第46回勿来地区総合芸能祭に特別参加団体としてコーラスふたば、 標葉せんだん太鼓保存会、双葉町民謡同好会、JAスマイル大正琴の皆さんが出演し、素晴ら しい発表を披露していただきました。夢と希望に向けた取り組み、意気込みを拝見しうれしく 思いました。ありがとうございました。これからも繋がる楽しさを味わいながら継続と保存に 尽力いただき更なる発展が出来るようご祈念申し上げます。

令和元年度 双葉町町政懇談会

11月7日のいわき市中央公民館を皮切りに県内外11会場において開催いたしました。多 くの町民の皆さまに足を運んで頂き、誠にありがとうございました。伊澤史朗町長より挨拶と 町政の説明後、今回は、避難指示解除準備区域の避難指示解除と帰還困難区域の特定復興再生 拠点区域内の一部避難指示解除、立入規制緩和について、国、県及び担当課より町民の皆さま への説明が主な内容でしたので、教育行政についてはこのメッセージにて簡単にお示しいた します。着実に復興・創生は進んでおりますが、スピード感の中で情勢、状況が変わる部分 も出てくると思います。しっかりとそれらを把握し、安全・安心を確認しながら丁寧に進めて 行こうと考えています。今後ともご理解とご支援をよろしくお願い致します。

- [1] 双葉町幼児、児童、生徒の避難先と数 県内328人 県外222人 合計550人 ※町立学校 幼児7人 児童33人 中学生12人 合計 52人 ※2019年12月1日現在
 - ① 柔軟な小・中連携による教育活動(運動会、栴檀祭など)
 - ② いわき市、地域の協力による特色ある学校教育の展開(水泳指導、稲作体験など)
 - ③ 少人数指導をより効果的に実践するための組織的な取り組み(少人数教育の充実)

[2] 教育総務課の今後の取り組み

- (1) 学校、公共施設の被害状況調査結果の分析 → 学校あり方検討の組織準備
- (2) 私物(学用品等)の返却を基本とした整理整頓 → 意向調査の実施
- (3) 町内学校内の指定文化財及び個人所有の文化的資料等の保全
- (4) 生涯学習活動への支援 (婦人学級、町体育協会、芸文教など)

双葉町教育委員会教育長 舘下 明夫







双葉町立幼・小・中学校合同文化祭

心を1つに届けよう!感動のステージを!

ONE



に貢献する、地域と中学生は「地域を知が送られました。 あり、 大人になっていく心情を表したで箏の演奏を披露し、全学年でえた成果を発表しました。有志 域、そして将来を関連付けて考な学習の発表を行い、自分と地る」というテーマのもと総合的 d a y あり、息の合った迫力ある演奏よる標葉せんだん太鼓の演奏がオープニングには小中学生に に来賓や保護者から大きな拍 されました。 、地域と共に生き「地域を知る、地域

標葉せんだん太鼓「天響」

▲ クロージングセレモニー「双葉町民の歌」

表で乗りた。 で元フラガールの猪狩(旧姓大 で元フラガールの猪狩(旧姓大 で元フラガールの猪狩(旧姓大 で元フラガールの猪狩(旧姓大 の物語の劇を演じ、双葉町出身 の物語の劇を演じ、双葉町出身 で元フラガールの猪狩(旧姓大 ない温泉施

はでは、大きな声で演じました。 切稚園児はなかなか姿を現さないくまさんと仲良くなるまでないくまさんと仲良くなるまでないで演じました。 は着け、大きな声で演じました。 でした。 園児・児童・生徒の一生懸命 がとりの笑顔が輝いた栴檀祭 がとりの笑顔が輝いた栴檀祭 でした。

幼稚園児の発表



▲「はずかしがりやのくまさん」

小学生の発表



▲「みんな 友だち」



▲「フラガール~ふるさとに虹を~」

中学生の発表



▲ 総合的な学習の発表



▲ 箏の演奏



▲ 合唱

第32回双葉町総合美術展 第6回双葉町民作品展覧会

10月31日、11月1日の両日、郡山市のビッグアイにおい て、双葉町芸術文化団体連絡協議会主催による第32回双葉町 総合美術展と第6回双葉町民作品展覧会が開催されました。

総合美術展には各地に避難する会員皆さまの華道、絵画、写 真など11部門の作品約130点が展示され、町民作品展覧会には 婦人学級の皆さんの手芸作品など約80点が展示されました。

昨年に引き続き、友好町の京都府京丹波町の方々の切り絵な どの作品を特別展示するコーナーも設けられました。

両日とも多くの方が故郷の方々の作品を見に訪れ、交流をし ながら作品を鑑賞しました。









勿来地区総合芸能祭

11月10日、第51回いわき市民文化祭 第46回勿来地区総合芸能祭が、いわき市 勿来市民会館大ホールにおいて開催され ました。

双葉町からも毎年参加させていただい ており、JAスマイル大正琴、標葉せんだ ん太鼓保存会、双葉町民謡同好会、コー ラスふたばの皆さんが出演しました。

今年も出演団体で唯一の和太鼓の迫力 の演奏や、大正琴やコーラスの美しい音 色、民謡同好会の歌や演舞を来場者は楽 しんでいました。



コーラスふたば 大切なふるさと 大切なもの



保存会 標葉せんだん太鼓



双葉町民謡同好会 秋田大黒舞



第31回 ふくしま駅伝大会 ~ふるさとへの思いタスキでつなぐ~

合宿を行い、チームの気持ちをひとができました。夏と秋にチームバーが集まり、今年も参加するこ明避難が継続している中でもメン明のでを表している中でもメンリーのでは、 参加してもらうのが特ににじがあまりない若い世代の る熱い応援メッセージにこたえるした。皆さんの故郷の選手に対す とつにして本番に臨みました。 なってきた」と話していましたが、 走りで双葉町 に選手の皆さんに見ていただきま セージ動画や寄せ書きを大会前日 大会前 に募集していた応援メッ 8 福 手の皆さんは精 ている状況で参加 km を選手たちはタス の思いが詰まった のが特に難しく石い世代の選手に 震災当時 震災から8 Ė







【出場選手】(敬称略)

1区 秋元 愛 5区 木幡 穰清 9区 坂本 朱羽 13区 佐藤 剛 2区 山本 良春 6区 井戸川 俊 14区 守家 偲音 10区 酒井 啓一郎 3区 渡部 陸翔 7区 宗像 遼大 15区 澤上 11区 山本 葵 晶 4区 山田 兼也 8区 新野 智大 12区 松本 直也 16区 宮嶋 祐輔

年末年始におけるコンビニエンスストア等での住民票など 各種証明書の自動交付サービスの停止について

年末年始【令和元年12月29日(日)から令和2年1月3日(金)まで】は、コンビニエンスストア等におけるマイナンバーカードを利用した住民票などの各種証明書の自動交付サービス業務が一部の店舗を除き停止されます。

また、併せてこの期間は、役場の各窓口及び郵送での各種証明書の発行もできませんので、住民票などの各種証明書が必要な方は、お早めの申請をお願いします。

ご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

● 出力が停止される帳票

住民票の写し、印鑑証明書、戸籍謄本(抄本)、戸籍の附票の写し、 所得・課税証明書



※コンビニエンスストア等における証明書等の自動交付サービスの利用可能時間は、6時30分から23時00分までです。ただし、店舗の営業時間内に限ります。

【問い合わせ先】 戸籍税務課 戸籍係 ☎0246-84-5204

≈プレミアム付商品券事業のお知らせ≈

プレミアム付商品券事業が行われています。商品券購入には商品券引換券の申請が必要 です。申請書は9月上旬に対象となる方に送付いたしました。下記期間内に申請してくだ さい。

なお、申請書の再発行等については、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

● 商品券を購入できる方

◆住民税が課税されない方(申請が必要)

本年1月1日時点で双葉町に住民登録があり、今年度の住民税が課税されない方 (生活保護を受給されている方や住民税が課税されている方の扶養親族等は除きます)

◆満3歳までのお子様がいる子育て世代

(平成28年4月2日から本年9月30日までにお子様が生まれた方) 対象の方には、10月中旬に引換券を送付いたしました。申請の必要はありません。

● 利用可能額

対象者1人につき、商品券2万5千円(購入金額2万円)まで

● 商品券引換券申請期間

令和元年9月1日から令和2年2月29日まで

【問い合わせ先】 健康福祉課 福祉介護係 ☎ 0246-84-5205

年金事務所からのお知らせ・・・・

社会保険料 (国民年金保険料) 控除証明書が発行されています!

国民年金保険料は、所得税及び住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。 控除の対象となるのは、平成31年1月1日から令和元年9月30日までに納められた保険 料(令和元年12月31日までの納付見込分を含む)となります。過去の年度分や追納された保 険料も含まれます。

また、ご自身の保険料だけでなく、ご家族の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合、 その保険料も合わせて控除が受けられます。

11月上旬に日本年金機構から「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書が送付されていま すので、年末調整や確定申告の際に必ずこの証明書または領収書を添付してください。

国民年金は、老後はもちろん不慮の事故など万一のときにも心強い味方となる制度です。保険 料は未納のないよう納めましょう。

【問い合わせ先】

ねんきん加入者ダイヤル

20570-003-004

●自動音声でご案内します。 050から始まる電話でおかけになる場合は、 **☎**03-6630-2525へおかけください。

【受付期間及び時間】

- •月~金曜日(午前8時30分~午後7時)
- ・第2土曜日(午前9時~午後4時)
- ※祝日(第2十曜日を除く)、12月29日~ 1月3日はご利用いただけません。

年末調整・確定申告まで大切に保管してください ~



されました。 避難先から26人の方々が総会に参加 政区総会、交流会を開催し県内外の 小名浜にあるホテル花天にて渋川行 10 月 19 旦 20 \exists 泊 でいわき市

告を行い、 た今年度より行政区規約を作成し、 の時期でしたが再任されました。 の黙とうを捧げました。 の避難先で亡くなられた方に1 開会に先立ち東日本大震災と各地 区長の挨拶、会計報告及び監査報 今年は行政区役員の改選

の状況、 史朗町長には挨拶の中で双葉町の今 多忙の中出席いただきました伊澤 概要を説明していただきま

です。 年ぶりの再会で、皆さんは時の経 の朝に解散となりました。 けてくださいとの声が聴かれました。 川の住民なのでこのような集いを続 のも忘れて交流を楽しんでいたよう 音頭で始まり、 また1年後の再会を約束し、 交流会は、 住む場所が違ってももとは渋 金田 酒を交わしながら1 勇 到副町長 の乾杯の

新山行政区の皆ざまへ

一昨年の新山行政区総会以降、引っ越しをされた方は、本年度の行政区の案内を お送りする関係で、恐れ入りますが下記の住所に12月20日までに郵送にてご連 絡くださいますようお願いいたします。

【送付先】

〒970-8047 いわき市中央台高久4-16-6 江井 俊雄

第5回 双葉町民トレッキング

11月9日、双葉ふれあいクラブ主催の双葉町民トレッキングが開催され、県内外の避難先から 参加した19人が北塩原村雄国沼湿原でトレッキングを楽しみました。

普段は霧の発生により全景を見ることが難しい雄国沼ですが、当日は天候に恵まれ霧が晴れて全 景の雄国沼と紅葉の景色を楽しむことができました。参加者の皆さんは全行程 8.6 kmを会話を楽

しみながら散策しました。

参加者の皆さんは散策しながら 次回の候補地について話し合うな ど、毎年参加を楽しみにしている 様子が伺えました。





2019 標葉祭り

10月26日、浪江町において一般社団法人 浪江青年会議所の主催で震災後2度目の標葉祭 りが開催されました。

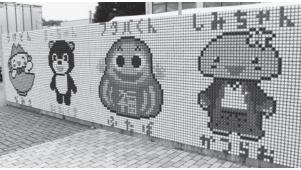
会場には今年も旧標葉郡(浪江、双葉、大熊町、 葛尾村) の名産品を取り扱うブースや各町村を 紹介するブースが立ち並びました。

ふたば茶亭の出店や双葉町観光協会のブー ス、標葉せんだん太鼓保存会の演奏と体験ブー ス、双葉町ダルマ市名物巨大ダルマ引き、双葉 南・北小学校の児童によるペットボトルキャッ プアート作品のフタバくんの展示などもあり、 来場者の方々は旧標葉郡の文化や名産品を堪能 しました。



▲ 標葉せんだん太鼓保存会







▼双葉町観光協会のブースにて

いわき・まごころ双葉会からのお知らせ

年間行事の12月例会を下記により開催いたします。 お誘い合わせの上、ご出席をお願いいたします。

開催日時: 12月14日(土)

9:30~14:30(昼食あり)

開催場所:新舞子ハイツ

いわき市平下高久字南谷地16-4

(20246 - 39 - 3801)

主な内容(予定)

- 来賓挨拶
- ◆ 余興(落語・フラダンス)
- 食事と大ビンゴゲーム

【問い合わせ先】 会 長 石田 翼 ☎080-5569-1775

双葉中学校(平成6年度)卒業生の皆さまへ(昭和54年4月2日~昭和55年4月1日生まれ)

同級会開催のお知らせ

日 時 令和2年1月2日(木)

受付: 男性11:40まで

女性12:15まで

厄払い祈祷 12:00

同級会: 12:30~14:30

場所いわきワシントンホテル椿山荘 いわき市平字一町目1番地 **2** 0 2 4 6 - 3 5 - 3 0 0 0

会 費 10,000円

申 込

12月15日(日)までに下記連絡先へ 出欠報告をお願いいたします。

【連絡先】 熊田 奈美 ☎090-3366-9198

「令和元年秋台風関連消費者ホットライン」の開設について

独立行政法人国民生活センターでは、台風等で被災された地域の方を対象として、 「令和元年秋台風関連消費者ホットライン」を開設しました。

- 0120-486-188 <フリーダイヤル(通話料無料)> 電話番号 ※「050」から始まる IP 電話からはお受けできません。
- 相談受付時間 10時~16時 <土日祝日含む>
- 対象 台風等に関連した消費者トラブル
- 対象地域 岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、 東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県
 - ※対象地域以外の被災地域の方や被災されていない地域の方は、最寄りの 消費生活センター等をご案内する消費者ホットライン(188番)におか けください (通話料有料)。





高齢者の入浴事故 ヒートショック対策と予防



12月から2月の冬場に起こりやすい浴槽での事故として、ヒートショックがありま す。ヒートショックとは、急激な温度の変化によって血圧の変動、失神、不整脈などの 症状がみられ、重症な場合には死に至ることもあります。

厚生労働省の人口動態統計によると、家庭の浴槽での溺死者数は平成18年の3,370 人であったのが、平成28年は5.138人であり、10年間で約1.5倍に増加しています。 また、年齢別では65歳以上の高齢者が4,756人と全体の9割を占めていますので、 高齢者は特に注意が必要です。

入浴中の事故を防ぐための注意ポイント

入浴時

1 入浴前に脱衣所と浴室を暖めましょう

脱衣所や浴室を暖め、部屋との温度差をなくすことが大切です。 脱衣所や浴室に暖房設備がある場合は利用し、入浴前に室温を上げ ておきましょう。暖房設備がない場合には、シャワーから給湯する と蒸気で浴室の温度が上がります。また、浴槽のふたを外しておく ことも良いでしょう。



❷ 湯温は41度以下、湯につかる時間は10分以内を目安にしましょう

湯につかる時間は10分までを目安にし、長時間の入浴を避けましょう。熱いお湯 につかること、長時間お湯につかることで体温が上昇しやすくなります。のぼせて浴 槽から出られず、さらに体温が上昇して熱中症になることもあります。

🖪 浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう

入浴中は身体に水圧がかかっているので、急に浴槽から立ち上がると急激な血圧変 動を起こすことがあります。一過性の脳貧血状態や転倒する危険性もあるので、ゆっ くりと立ち上がるようにしましょう。

こんなことにも注意をしましょう

1 食後、飲酒後の入浴は控えましょう

食後は食後低血圧での失神のリスクがあるので、食後すぐの入浴 は避けましょう。また、飲酒後の入浴は事故死につながる危険性が あります。体調がすぐれないときや精神安定剤、睡眠薬を飲んだ後 での入浴も思わぬ事故が起こる事がありますので避けましょう。



2 同居者がいる方は、入浴する前に一声掛けましょう

入浴中に体調悪化等の異変があった場合は、周囲の人に早期発見してもらう事が 重要です。そのためにも、入浴前に周囲の方に一声かけてから入浴するようにしま しょう。

参考:高齢者の入浴事故 ヒートショック対策と予防 (健康長寿ネット)、冬季に多発する入浴中の事故にご注意ください (消費者庁)

年末年始、アルコールはほどほどに

●年末年始になると、お酒を飲む機会が増える人も多いかもしれません。しかし、出来るだけ適量を守り、飲み過ぎと飲み方に注意しましょう。一気飲みなどは急性アルコール中毒を起こし、意識レベルが低下しおう吐や呼吸状態の悪化を招き、場合によっては命に係わることもあります。飲み過ぎは帰宅途中で転んだり、酩酊して周囲の人とトラブルを起こす場合もあるので注意しましょう。

適度な飲酒量は、1日平均純アルコール量で20gとなります。20gとはそれぞれ「ビール中瓶1本」、「日本酒1合」、「耐ハイ(7%)350ml缶1本」になります。自分の適量を知って、1週間に1~2日程度は休肝日を取りましょう。年齢や性別・飲酒習慣によって、適量はその人それぞれです。適度な飲酒量を越えないように意識しましょう。

参考:アルコール(厚労省HP)、12月年末年始、アルコールはほどほどに(全国健康保険協会HP)

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0246-84-5205

双葉町社会福祉協議会

~健康運動教室、サロン開催のお知らせ ~

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

会場開催日時間問い合わせ・申込先健康運動教室(内容:健康講話、相談、運動機能の維持・向上等)南東北総合卸センター 2階第6会議室 (郡山市喜久田町卸1丁目1-1)毎週 木曜日
毎週 木曜日13:30~15:00郡山事務所
郡山事務所
2024-973-5291

社協サロン(内容:健康体操、講話、相談、生きがいづくり、交流等)
※参加を希望される方は昼食準備のため、事前申し込みをお願いします。

富岡町役場いわき支所 多目的交流施設 (いわき市平北白土字宮前 8) 12月12日(木) 10:30 ~ 14:30 本部事務局 ☎ 0246-84-6725

令和2年度 公立双葉准看護学院 学生募集

◇学科:准看護学科

●修業年限:2年(全日制) ●募集人員:30名

◇受験資格

中学校卒業以上の者 (令和2年3月卒業見込を含む・年齢不問)

◇出願受付期間

令和2年1月7日(火)~1月24日(金)必着 ※土日祝祭日を除く9:00~16:30まで ◇試験日程及び科目

試 験 日	令和2年1月30日(木)			
科 目	①筆記試験 (国語・数学) ②作文 ③面接			

◇出願書類

詳しくは下記までお問い合わせください。

【出願・問い合わせ先】 公立双葉准看護学院 福島県南相馬市原町区萱浜字巣掛場 45-76

☎ 0 2 4 4 – 3 2 – 0 9 9 0 メール:futajyun-kango@aioros.ocn.ne.jp

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ~中間貯蔵施設について~

◇中間貯蔵工事情報センターについて

中間貯蔵施設の様子をバスでご覧いただく見 学会を月1回実施しています。

次回は、12月20日(金)を予定しています。 見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯 蔵工事情報センター(☎0240-25-8377) までお願いします。







見学会の様子 (2019年9月撮影)

◇輸送状況について

双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。

・2019年度は、515,261 ㎡搬入しています。(2015年からの累計は1,426,555㎡)※11月7日現在

◇双葉町企画展について

環境再生プラザでは、10月1日から、企画展「双葉町のいまとこれから」を開催しています。震災 前や現在の町の様子、復興への取組みなどをパネルや写真等で紹介しています。展示は2020年1月 31日(金)までの予定です。皆さまぜひご覧ください。

*環境再生プラザ(福島市栄町1-31) http://josen.env.go.jp/plaza/

◇保管場及び陳場下交差点の放射線監視

- ▶空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。 **同**号 今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。
- ▶中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)の HPで公表しております。(URL)http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html 🔟🗗



【問い合わせ先】福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎024-563-1293

消防署からのお知らせ

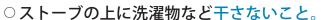


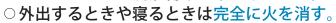
年末年始の 火災に注意!

この時期は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。また、年末 年始は火気を取扱う機会も増えますので、取扱いには十分注意しましょう。



- ○石油機器の取扱説明書をよく読んで、注意事項は必ず守る。
- │○不良灯油は使わない!





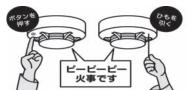




" 住宅用火災警報器の設置・維持管理を

住宅用火災警報器は、火災の発生を早期に感知し、警報音や音声などで知らせる機器で、設置すること で「逃げ遅れ」による死傷者の発生を低減、火災による被害を最小限にすることを目的としています。設

置により、火災発生時の死亡リスクや損失の拡大リスクが大幅に減少する という分析結果も出ています。また、住宅用火災警報器は、古くなると電 子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。 点検ボタンを押す又はひもを引いて作動確認をするとともに、10年を目 安に交換しましょう。



【ひとつずつ いいね! で確認 火の用心】 2019年度 全国統一防火標語

火事と救急は119番 <消防署連絡先>

- ・ 浪江消防署 ☎0240-34-4111
- ・富岡消防署 ☎0240-22-2119





厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」



福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

【求職者向け】職場体験実習「大人のインターンシップ」説明会

就職活動に一歩が踏み出せず不安、未経験の職種にチャレンジしてみたいけど自分に合 うかわからない…。そんな方、必見!! 県内 480以上の登録事業所の中から興味のあ るお仕事を体験できるチャンスです。求人票だけではわからない職場を自分で見て、聞 いて、やってみる。そんな体験型の就職活動はいかがですか。まずは説明会にご参加く ださい。

- 内容… 1人15分程度の個別説明会(申込不要・参加無料)
- ●日 時… 12月 9日(月) 13:30~15:15
 - 会 場… ハローワーク郡山(郡山市方八町2-1-26)
- ●日 時… 12月10日(火) 13:30~15:30
 - **会 場…** ハローワーク相双(南相馬市原町区桜井町1-127)
- ●日 時… 12月18日(水) 9:30~11:30
 - **会 場…** ハローワーク富岡(富岡町大字小浜字大膳 109-1)



ご希望の日程で、講師が事業所に出張するセミナーを開催します。

- 3種類のセミナーから選択。人材育成、社内教育の充実化にお役立て。
- 【企業力】 企業の未来をつくるのは人材。社内の意識改革で働きやすい職場へ!リーダー シップとマネジメント力開発、タイムマネジメントとスケジュール管理、部下育 成「ティーチングとコーチング」、人事評価制度基礎研修、事例に学ぶ安全衛生 と労災防止、人材獲得と定着促進、全社で取り組む業務改善、の7つテーマから 選べます。
- 【接 遇】 お客様の立場で顧客満足を考え、接遇スキルをアップする。実践!ビジネスマ ナー、クレーム未然防止&クレーム対応の基本、「聴く力」「共感する力」で対人 関係を良好にする、の3つのテーマから選べます。
- 【**放射線**】 放射線の現状を再確認し、仕事と暮らしの安心に!正確な情報を提供することで 不安の払拭につなげます。
- 開催期間 ··· 2020年2月28日までのご希望日(平日9:00~17:00の間)
- ●会場… 申込事業所の会議室、食堂、フリースペースなど
- ●人 数… 少人数から受け付けます
- **限定数** ··· 企業力:30社 接遇:30社 放射線:5社

※限定数になり次第、申込終了とさせていただきます。申込多数の場合、先着順により決定します。

【**申し込み・問い合わせ先**】 ホームページ | 働きたいネット | 検索

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口(福島市中町4番20号みんゆうビル202号)

☎ 024-524-2121 FAX 024-524-2125





祝

が 5 **刈葉町スポー** 界 10 フトテニ お 対 4 の 選手権 日本勢女子の優勝は8年 半谷選手は小学校3年生 漫川 スクラブ所属 接戦を制 初出場の 大会女子ダブル 習を と高 習を両立さ-ツ少年団に 橋乃綾選手 立さ どんぐり せ 入団 ľ 北

う快挙を成し遂げられました。 テニス ス決勝 ーぶりと う力を続い いの時に のペ まし 16

お祝いメッセージ

ソフトテニス世界選手権女子ダブル ス優勝!誠におめでとうございます。 双葉町民の皆さんに大きな元気と勇気 をいただきました。ありがとうござい ました。今後、ますますのご活躍をお 祈り申し上げます。

双葉町教育委員会 教育長 舘下 明夫









▲11月15日から町いわき事務所に垂れ幕、横断幕を掲げています



写真提供



どんぐり北広島ソフトテ



広報紙の発送について

「広報ふたば」「ふたばのわ」は、1 居所につき 1部送付しています。

ご家族が別々の場所に引っ越された場合や、同 居するようになった場合など、広報紙の発送に関 することは下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎0246-84-5202

避難先を移動された方へ

避難先を移動された方は「避難住民届」を提出 してください。

※移動先の届出がないと、町からの広報紙、各種 通知などの郵便物が届かなくなりますのでご注 意ください。

【問い合わせ先】 戸籍税務課 ☎0246-84-5204



スス 女 の / 虫 た より 全国に避難されている皆さんから寄せられた お便りの一部をご紹介いたします

鎌田益實さん (三字) が第72回 福島県文学奨励賞を受賞しました

(一般の部50句)

報告をした鎌田益實さん11月11日、伊澤史朗町長1 月11日、 伊澤史朗町長に受賞



7 10 9 8 6 5 4 3 2

題 休追 帰 月 休 故 故 故 春 るさと は 還 朧 校 番 す 米 \bigcirc 郷 \mathcal{O} \bigcirc 机 寿の眼の母校記 なり 荒 被 ゆ 確 る を 日 曝 < 定 \bigcirc 追 申告 \bigcirc 日 Q 阿 は 叶 大きく 念樹 河 母 Q 武 虹 n 隈 原 校 \mathcal{O} は 彼 や 故 追 ず 囀 遙 山 橋 や 鷹 立 岸 郷 は か 高 冬れ 桃 蛙

 \bigcirc

花

銀

河

自 評

7回の避難の日々を日記に俳句を詠じ記録してお き、それを纏めたものです。季語について、季語を どう生かして詠むかまだまだ未熟です。

審查員 黒田 杏子 選評

奨励賞の鎌田益實さん。初めてのご応募ですが、 八十八歳の人生の厚みと重さが見事に表現されてい ます。正賞に限りなく近い実力を備えた作者である と感じました。是非来年も作品をお寄せください。

永瀬十悟審査経過

今年度の俳句部門の応募総数は七十五編、受賞四 編奨励賞は鎌田益實さん「故郷を追はれて」

江井委員

(受賞作品)

て

「作者は双葉町の人。帰還困難区域のため帰れず にいる。俳句を詠むことで己を励ましている。朴訥 だが人間性の豊かな作品」

黒田委員

「八十八歳の作者。人生詠として厚みがある」

人のうごき10月分 敬称略

鳴

お悔み申し上げます

氏	名	年齢	死亡日	行政区
福田	ナツ	89	9月27日	郡山
金澤	定子	90	10月 6日	三 字
開発	充雄	77	10月 7日	長塚一
渋谷	開三	8 1	10月15日	三 字
小元	長治	90	10月21日	三 字
市村	清治	90	10月21日	長塚一
白岩	保芳	94	10月21日	中 田
榎内	文子	99	10月23日	長塚二

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の 名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 20246-84-5202

文 里 俳 川 謡 歌 句 柳 芸 赤 子 四 さざん 風 和 代の () そ T 企 ろ ず 花 日 画 検 か が 1) 查 1= 色祭至 済 冠 祝 寿 暮 雪 宴 0 染 祝 や ょ 和 \bigcirc 南 8 膳も か 瓜 H 15 禮子 師 届 (長塚 走 15 V) 11 V)

双葉町民の避難状況(令和元年10月31日現在)

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、 出生者と転入者を加えた人口を示しています。

- ・福島県内に避難されている方 4.051人
- ・福島県外に避難されている方 2,809人

記録として次の世代へ ふるさと



ずっと、ふるさと。双葉

町。





















ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

かれて避難生活を送っています。 双葉町民はふるさと双葉町を離れ、 東京電力福島第一原子力発電所の事故により、 平成23年3月11日に発生した東日本大震災、 今もなお全国に分 私たち そして

ける方を募集しています。

がら「ふるさと絆通信」として連載して いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしな 日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思 います。 先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎

皆さんの双葉町への思いと心の絆がより そして「ふるさと絆通信」を通して、

層深まることを期待いたします。

ビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。 葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどな 掲載する文章は、その内容をもとに記者が作成しますので、 株式会社鹿島印刷所(南相馬市)の記者が町民の皆さんの避難先を 避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双 ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただ インタ

たでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

【問い合わせ先】 秘書広報課 **20246-84-5202**





料理好きを生かしてより健康な日々を

野菜の切れ端はジュースにして飲んでいます。 料理を楽しみながら生活しています。その中で、 に加え、調理しにくいもの(ニンジン等)や果物、 リースプラウト等)を取り入れた生野菜サラダ 味噌汁も「一菜」と考え、注目食材(ブロッコ でも、身近な食材(30種類)を摂るよう心がけ、 生活の習慣病と思います。後期高齢となった今 のバランス・偏食・過食が関与する部分が多い 三大疾患(がん・脳卒中・心筋梗塞)は、

興味は楽しみなり」を実践できた

ともあった反面、様々なことを経験できました。 て本格的な手術、 職場ではレントゲン撮影の他、「写真班」とし 仕事に就いた昭和30年代の後半は苦労したこ 病理解剖に加え、旅行や行事の

> が多く、照明持ちから患者の搬送までこき使われ 性同伴の比較的高齢の男性)、傷害(けんか)等 験を、今でも忘れることはありません。 ましたが、患者の処置を直接見ることができた体 雀をしていましたが、必ず急患がありました。当 まで教えてくれました。そして、毎夜、医局で麻 多く、病気の話、カルテの読み方、酒の飲み方を 撮影も担当しました。一方、面倒見の良い医師が 熱海では、睡眠薬自殺(心中)、心筋梗塞(女

料理

時代

今から約55年前、静岡県熱海市の病院で放射

私に合っていた「病院勤務_

いわゆる家

気

年を迎えました。病院の午前中は忙しいものの、 職業だからこその幸せと思います。 午後からはCT装置を扱い、空いた時間を専門 健所に勤務し、その後、 の西病院で勤務を続けましたが、これも、 た。また、退職から震災までの10年間、 日々は、私の性格に合い居心地の良い時間でし 書に目を通し、医師から病気の話を聞くという 結婚後、31歳で故郷に戻り、県職員として保 県立大野病院に移り定 浪江町

様々なことが重なっている中で

そして、東日本大震災と原発事故など、様々な 母との別れ、私たち夫婦の定年退職、娘の結婚、 らの節目を振り返ってみますと、子どもの傷病、 かったのは残念なことです。 ことが重なった中でも、故郷を離れざるを得な 人生は、誰でも紆余曲折でしょうが、50才か

楽しみながら、 いと思っております。 ながら、脳神経を刺激して、外で人との交流を 近年は不摂生を慎み、仲間と麻雀の卓を囲み 年齢相応に健康な余生を送りた



五郎さん

たり前の時代でしたが、子どもの頃から木

に週休2日ではなく、土曜日も働くのが当

工などの手作業が好きだったため、

ことが苦にはなりませんでした。

需要も多く忙しい時代でした。

現在のよう

行われるなど、東京の街は膨張を続け建築

具屋としての人生がスタートしました。当

昭和37年、

東京都八王子市で就職し建

高度成長期に加え東京オリンピックが

忙しくても仕事が好きだった

相馬市にあった職業訓練校で木工を学

福島県いわき市

老後は故郷で過ごしたい

時折、 た平成10年、退職して双葉町に戻りました。 程度余裕を持った生活をしたいと思うよう 後半に入ると、都会の忙しさを離れてある 活はとても心地良いものでした。 しながらの日々でしたが、 まれ仕事をする、いわゆる「手間取り」を になりました。そこで、50歳の節目を越え 体を使う仕事で無理もしたせいか4歳代の れ、子どもの頃に慣れ親しんだ場所での生 東京都と千葉県で30年以上働きましたが、 知人や友人から木工などの作業を頼 都会の雑踏を離

好きな魚獲りが仕事のように

獲物に恵まれました。特に、 とっては大きな魅力で、 故郷では自然が豊かで、釣り好きの私に 前田川では様々な 河口から両竹

> なりました。 ナやドジョウといった定番の川魚だけでな 好きなことが手間取りと並ぶ仕事のように 待って下さるようになり、いつの頃からか、 きな町内の「固定客様」がそうした釣果を まるで宝箱のようでした。そして、川魚好 まったウナギやナマズも多くかかるなど、 によって淡水と海水が混ざり合うため、 地区にかけては流れが緩やかで、 今では非常に貴重な存在となってし 潮の干満

恵み豊かな場所は見る影もありません。 ましたが、風景はすっかり変わってしまい、 一時立入りの際、 海岸付近にも足を運び

故郷への帰還を希望します

が楽になったように感じています。 を感じることができるなど、多少、 での生活となりましたが、故郷に近く海風 酒井団地に入居しています。久々に浜通り 宅を経て、昨年4月から復興公営住宅勿来 したこともありましたが、 町の集団避難で、 一時、埼玉県内で生活 郡山市の仮設住

待ちたいと思います。 故郷で暮らせる日が訪れることを楽しみに ル作りなどの木工作を手がけながら、 みます。イベントへの参加や、 にする度、帰還できることへの期待が膨ら して新たな町づくりが進んでいる様子を目 故郷では復興が進み、 町広報紙などを通





多くのご厚意に支えられ

装の貸し出しも行われました。 ことができました。また、新入生を持つ保 護者に対し、入学式出席用のスーツなど正 ランドセルから筆記用具に至るまで揃える ます。避難直後の混乱も重なり困り果てて め、学校に通うための用意は持ち合わせて いた中、多くのご支援が寄せられ、 に支給されますが、それ以外は各自となり いません。義務教育の場合、教科書は公的 何も持たず着の身着のままで町を離れたた 加須市で新学期を迎えることになりました。 当町からの子どもたち約10人が 制服や

学校で勤務していた教員のうち6名が、「福 らない状態となりましたが、被災時に町立 島・埼玉両県教諭を併任」という身分で、 方、私たち教職員も、一時、 処遇が決ま

学年末に様々なことが重なった

騎西小・中学校に勤務することができました。

終え、帰りの会を始めようとしていた中、 を間近に控えた週末の金曜日、 における最後の校務となりました。 に引き渡し終えたところが、事実上、 大地震となり、その夜、児童全員を保護者 双葉南小学校で6年生を担任し、卒業式 5時間目を 故郷

様々なことが重なりました。 原発事故に加えて町外避難など公私両面で 下旬に父を亡くし忌引き明け直後、 平成23年は、学年末を目前に控えた2月 震災と

埼玉での「併任」そして再び福島へ

りの取り組みを行い、私については、同じ 誤を重ね、与えられた環境の中、できる限 さんからご理解とご協力をいただきまし 図ることにも注力しました。 町民として保護者との交流や町との連携を た。そして、併任教員同士で議論や試行錯 覚と足跡を残すために文集を制作しまし でしたが、「双葉町の子ども」として、 た。当町の子どもたちを特別扱いしません 騎西小学校では、同校先生方や地域の皆

合い続けました。 しましたが、子どもたち一人ひとりと向 空店舗を利用した仮校舎で教育活動を再開 に教諭として着任しました。当時、 市内で町立学校の開校に合わせ、 併任から3年後の平成26年4月、 南小学校 市内の い

教頭として再び南小へ

と自信を持ち、将来に向かって歩んでもら 町の将来を担う子どもたちに、故郷の誇り 戻ってのスタートです。これからも、 の再登板ですが、以前の立場とは違って学 えるか、挑戦を続けたいと思います。 校運営全体に関わる必要があり、 春、教頭として戻ってきました。4年ぶり 着任翌年度、広野小学校に転任し、この 初心に

~双葉町立学校・ALT~ (ALT····外国語指導助手)

町立学校のALT、アンソニー・バラード先生とフィリップ・ジェリーマン先生の写真館です。双葉 町の懐かしい写真などを展示しています。



アンソニー先生 【学校からの帰り道】 (2009年6月8日撮影)



フィリップ先生 【下条地区】 (2019年9月14日撮影)

童・生徒たちは開会式で約束したとおり、みんなを勇気づけるよ市では大雨が降っていましたが当日は快晴に恵まれ、園児・児金活動を行っていました。栴檀祭の前日も町立学校のあるいわきえながら、開始前に台風第19号で被害を受けた方たちのために募中学校の生徒たちは、自分たちの学習発表や司会などの役割を控り月26日には町立学校体育館で栴檀祭が開催されました。双葉 時代を描いた劇「フラガール~ふるさとにうな一生懸命な姿を見せてくれました。堂童・生徒たちは開会式で約束したとおり、 体調を崩しやすい時期ですので、体調管理にはご注意ください 宗された力作の数々に見入っていました。月の表紙は、第32回双葉町総合美術展の様 [双葉町総合美術展の様]1ヵ月となりました。 ・ル〜ふるさとに虹を〜」では、変わりくれました。常磐炭鉱閉山時の激動の東したとおり、みんなを勇気づけるよ い時代への期待と不安が表現され れた人





10月26日に行われた栴檀祭で、猪狩梨江 さん (右端・細谷) と双葉南・北小学校のフ ラガールの皆さんの笑顔です。

○いわき事務所

〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19-4

○郡山支所

T963-8024 福島県郡山市朝日一丁目20-2

○埼玉支所

〒347-0105

埼玉県加須市騎西36-1 加須市騎西総合支所2階

3 0246-84-5200

FAX 0246-84-5212

77 024-973-8090

FAX 024-933-5120

0480-53-7780 7

FAX 0480-53-7266

○双葉町公式ホームページ

http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/

携帯サイト

http://www.town.fukushma-futaba.lg.jp/m/

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」

http://futabanowa.wordpress.com/

○双葉町復興ポータルサイト

http://www.futaba-fukkou.jp

